

平成20年度 特別活動部 研究活動のまとめ

南丹・船井小学校教育研究会

<p>《研究主題》</p> <p>望ましい集団活動を通して、 主体的・実践的な態度を育成する特別活動の追究</p>

第 一 回	日時	平成20年 7月 2日 13:40 ~ 16:30
	会場	南丹市立新庄小学校
	研究の概要	<p>①授業研究会 第4・5学年複式 学級活動 「友だちの良いところを見つけよう」</p> <p>②事後研</p> <p>③講演 演題「特別活動の現状と課題」 講師 京都府南丹教育局指導主事</p>
第 二 回	日時	平成20年10月 2日 13:40 ~ 16:30
	会場	京丹波町立三ノ宮小学校
	研究の概要	<p>①授業研究会 第6学年 学級活動 「自分も相手も大切に伝える伝え方」</p> <p>②事後研</p> <p>③実践交流（ブロック別） 各校の特色ある取組について、レポートを基に実践交流</p>

<p>本年度の研究で明らかになった内容</p>	<p>(1) 成果 ～授業研究会より～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達段階が少し違う複式学級での、学級活動を進める上での指導上の課題や実際の授業の進め方がわかった。 ・話し合い活動の基盤となる集団作り（学級経営）の重要性が明らかになった。 ・話し合い活動をどのように進めるべきか（議題の設定、役割等）、また指導すべき点は何かが明らかになった。 ・対人関係等で悩む児童が多くなる思春期の時期に、コミュニケーション能力を育てるため、ロールプレイ（人権学習資料集から）を取り入れるなど、活発な意見交流が出来ていて、大変参考になった。 ・ワークシートを活用することにより、話し合い活動が活発化していた。 <p>～講演・実践交流より～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、特別活動の抱えている現状と課題を通して、新学習指導要領の理念やその内容の変更等、また移行期に取り組むべき内容がよくわかった。子どもたちの社会性や豊かな人間性をはぐくむため、その発達段階に応じ、集団宿泊活動等体験活動を重視する。（講演より） ・学校独自の特色ある取組の交流を通して、他校の取組のよさを学ぶと共に自校の取組を見直すことができた。（実践交流より） <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低、中、高学年と発達段階に応じた学級活動の系統（指導計画）やその授業のあり方について ・話し合い活動における教師の支援のあり方について ・特別活動の評価（自己評価・相互評価等）のあり方について <p>(3) その他</p> <p>南丹・船井地域では小規模校が多く、近年児童減のため複式学級が導入される学校が増えてきた。複式学級の学級活動の指導計画や具体的な指導のあり方等を学ぶことができた。</p>
<p>来年度への研究課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の発達段階に応じた学級活動の指導計画の作成と具体的な授業のあり方について実践研究を深めていきたい。（系統的な指導について） ・特に今年度実践交流が出来なかった自己評価、相互評価等、評価の工夫と教師の指導のあり方について研究していきたい。（指導と評価について）
<p>その他の研究活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回小学校学校行事研究全国大会大阪府大会 大会主題「人間力を育む学校行事の創造」 期日：平成20年8月2日（土）～3日（日） 会場：大阪大学豊中キャンパス 南丹・船井支部より1名参加 ・第26回近畿特別活動研究協議会奈良大会 大会主題「豊かな人間性をはぐくむ特別活動の創造」 期日：平成20年10月31日（金） 会場：奈良県香芝市立志都美小学校 南丹・船井支部より1名参加